

## 今後の名簿について

副会長, 名簿ワーキンググループリーダー  
鈴木 恵一朗 (昭和45年電化卒)

### 1. 経緯

国大化学会では、3年ごとに名簿を発行する方針とし、今までに2回、名簿を発行してきました。しかし、前回の発行時（平成22年度）には個人情報保護の観点等から、どのような名簿が適当かを色々と議論し、予定より1年遅れて、結局のところ従来とあまり変わらない名簿を発行しました。その経緯については国大化学会会誌9号（平成23年10月発行、64ページ）に記した通りであり、次回の名簿は紙の名簿（印刷版）ではなくWeb版（インターネットで利用されるドキュメントシステム）が選択肢としてクローズアップされるとしました。本来であれば、本年25年度が名簿発行の年となります。そこで昨年秋に、次の名簿をどのようなものにするかを検討する名簿ワーキンググループが発足し、検討を進め、本年5月の役員会に提案を行いました。



した（図1）。その結果、従来、ほとんどの同窓会が概ね2, 3年に一回程度、冊子体の名簿を作成し、無料で配付してきたことがわかりました。この冊子体の名簿の問題点として、個人情報保護の問題、名簿内容の精度・更新の問題、事務量・経費の問題など、どの同窓会も同様の問題を抱えています。国大化学会の場合、1回の発行で約200万円の費用がかかっていました。また、新たな方向として、すでに2つの同窓会（横浜電子情報工学会および富丘会）が昨年度よりインターネットを利用したWeb版の会員情報システムに移行したことが注目されました。

### 2. 他同窓会の名簿状況、名簿の必要性

名簿ワーキンググループでは、まず国大化学会としてワーキンググループ発足前から始めていた国大の各同窓会の名簿状況調査を続け、これをまとめま

同窓会名	名簿状況			
	冊子	電子媒体	発行頻度	料金等
国大化学会	冊子（最新：平成23年3月発行）		3年に1回	無料（発行年を含め3年間に1年分以上会費納入した者に配付）
工学部同窓会連合	冊子（最新：平成17年3月発行）			有料
生産工学科同窓会	冊子→発行停止		4年に1回	無料 紙媒体ではない方法を検討中
水煙会（建築系）	冊子	電子ファイル（CD）	2年に1回	・会費納入会員に無償でCD配付 ・今年度より希望者のみに有料で冊子配付（5000円）
弘陵造船航空会	冊子		3年に1回	無料、CD化も検討中
横浜電子情報工学会		会員情報システム アルムネット採用		
横浜三工会	なし	なし		
横浜国大土木同窓会	冊子		年1回	無料
横浜知能物理同窓会	冊子（コピー）		発行時期検討中	
富丘会	冊子も予定（希望者に5000円）	会員情報システム アルセント採用		

図1 横浜国立大学各同窓会の名簿状況

なお、名簿の必要性については、1) 同窓生の動向、所属を知るため、2) 同窓生同士が連絡を取り合うため、3) 具体的な必要性は感じないが、同窓会として必要、との意見が強く（平成21年度総会アンケート結果より）、また学生は就職活動に活用している、との実態があり、国大化学会として名簿は必要との共通認識があります。

### 3. インターネットを利用したWeb版の会員情報システムについて

上記の各同窓会の名簿状況を踏まえ、名簿ワーキンググループとしては、新たな方向のWeb版の会

員情報システムにつき調査することとしました。具体的には、イーストゲート社のアルムネットを採用した横浜電子情報工学会、およびワンネット社のアルセントを採用した富丘会にヒアリングを行い、次にこれらのシステムを運営する両社にヒアリングを行いました。そしてさらに、両社より国大化学会の現在の名簿（事務局にある原簿を含め）をこれらのシステムに移行した場合の費用見積も取りました。その結果、両システムの機能に大きな違いはありませんが、費用はかなり違うことがわかりました。従来の冊子名簿に対するインターネットを利用したWeb版会員情報システムのまとめを図2に示します。

#### 従来の名簿(冊子)に対して

- ・個人情報保護・名簿内容 → ・会員が自分のデータの入力・更新を行い、公開範囲も対象別に決定  
・必要な情報を容易に取得できる  
(他会員の多様な条件での検索可能)
- ・事務量 → 名簿(原簿)管理・更新の負担大幅減  
名簿(冊子)発行時の負担大幅減
- ・費用 → 名簿移行費用20万円、初期費用23万円、年費用22万円  
(横浜電子情報工学会が採用したアルムネットの場合)
- ・情報セキュリティ → 色々な対策があり問題なし、名簿ダウンロード不可
- ・冊子名簿 → システムデータより容易に作製できる  
(希望者に有料配付可能)

#### 他に付加できる機能

- ・会費払込対応(オンライン決済、コンビニ支払等)、  
会費入金管理
- ・総会等連絡、申し込み、払込、入金管理
- 上記のための加算  
初期費用15万円、年費用18万円  
(アルムネットの場合)
- ・会員間メール交信、メールマガジン配信等

#### メリット

- ・会費等の納入容易
- ・運営業務軽減
- ・会員同士の交流活性化

図2 Web版の会員情報システムについて

この図では費用について安価なアルムネットの場合を記しています。Web版の会員情報システムの場合、従来の冊子名簿の場合の問題点が、それぞれ改善される方向であることがわかりました。また、懸念された情報セキュリティの問題、冊子名簿が欲しい場合に容易に作製可能か、についてもクリアできることがわかりました。なお、課題は会員が自分のデータの入力・更新を行ってくれるかどうか、いかにしてこの率を上げていくかであり、本年の総会でも質問が出た点です。事務局、クラス委員が不足な点をカバーして入力、更新等を行い、また、あらゆる分野でWebの活用が今後さらに進んでいくと思われる環境下、他の同窓会での対応策等も参考にしていくことにより、改善されていくのではないかと考えています。

また、インターネットを利用したWeb版会員情報システムの場合、基本的な名簿機能に、会費等の払い込み対応機能、入金管理機能等が付加できることが特徴です。会費の納入率が減少傾向にある現在、会費をより払いやすくし、同時に管理業務を軽減できることは大きなメリットと考えられます。また、会員情報システムを通じて、会員間のメール交信、

メールマガジン配信等が活発化することにより、会員同士の交流が進むことが期待され、同窓会にとってプラスとなると思われます。なお、両会員情報システムの全国の大学同窓会での採用実績は着実に増えつつあり、トレンドとなってきたと思われる。

### 4. 今後の方向

名簿ワーキンググループでは、上記の調査・検討結果から、以下を本年度の第一回役員会(5/8)に提案し、了承を受け、総会での報告を行いました。

- ・インターネットを利用したWeb版の会員情報システム採用の方向とする。
- ・本年度中に採用システム、情報内容、機能範囲を決める。
- ・新システムへの切り替えは来年度を目標とする。

今後、検討しなければならない課題は多いと思われませんが、国大化学会の名簿は大きく新たな方向へと踏み出すことになりました。皆様のご理解とご意見、また今後の活用をどうぞよろしくお願い申し上げます。